

東京法学校 主幹 薩埵 正邦 (さった まさくに)	第3代総長 水町 袈裟六 (みずまち けさくろ)	第12代総長 中村 哲 (なかむら あきら)
東京仏学院 校長心得 古市 公成 (ふるいち こうせい)	第4代総長 小山 松吉 (こやま まつきち)	総長代行・ 第13代総長 青木 宗也 (あおき そうや)
東京仏学院 校長 大島 誠治 (おおしま せいじ)	第5代総長 竹内 賀久治 (たけうち かくじ)	第14代総長 阿利 真二 (あり びくじ)
東京法学校 校長 河津 祐之 (かつづ すけゆき)	第6代学長・ 第7代総長 野上 豊一郎 (ののがみ といちろう)	総長代行 鬼塚 豊吉 (おにつか とよきち)
和仏法律学校 校長 箕作 麟祥 (みづくり りんしょう)	総長事務 取扱 錦織 理一郎 (にしじり りいちろう)	第15代総長 下森 定 (したもり さだむ)
和仏法律学校 校長心得 飯田 宏作 (はんだ こうさく)	第8代総長 大内 兵衛 (おうちゅう ひょうえ)	第16代総長 清成 忠男 (しみなり ただお)
和仏法律学校 校長 横田 国臣 (よこた くにのみ)	第9代総長 有澤 廣巳 (ありさわ ひろみ)	第17代総長 平林 千牧 (ひらばやし ちまき)
和仏法律学校 校長 梅 謙次郎 (うめ けんじろう)	総長代行・ 第10代総長 谷川 徹三 (たにかわ てつぞう)	第18代総長 増田 壽男 (ますだ としお)
和仏法律学校 校長 富井 政章 (とみい まさあきら)	総長代行 小田切 秀雄 (おだぎり ひでお)	第19代総長 田中 優子 (たなか ゆうこ)
法政大学 総理 梅 謙次郎 (うめ けんじろう)	総長代行 菰淵 鎮雄 (こもぶち 鎮お)	第20代総長 廣瀬 克哉 (ひろせ かつや)
法政大学 第1代学長 松室 致 (まつむろ いたす)	第11代総長 渡邊 佐平 (わたなべ ざへい)	第21代総長 Diana Khor (ダイアナ・コー)
第2代学長 秋山 雅之介 (あきやま まさのすけ)	総長代行 菰淵 鎮雄 (こもぶち 鎮お)	

進取の気象

山田 耕介さん (やまだ こうすけ)



プロフィール

1959年12月3日 長崎県国見町（現雲仙市）生まれ
1978年3月 島原商業高等学校卒（サッカー部主将、U-18日本代表、高校選抜）
1982年3月 法政大学法学部法律学科卒（U-20日本代表、学生選抜）
1982年4月 前橋育英高等学校 社会科教諭（サッカー部監督）
2011年4月 同校 教頭
2014年4月 同校 副校長
2017年4月 同校 第16代校長
2020年4月 同校 学監（現在に至る）
2022年-2024年 ザスバ群馬 取締役会長



高校と大学で様々な全国レベルの大会での優勝や入賞を経験し、前橋育英高校での教職の道に！ サッカー部監督として、同校を全国高校サッカー選手権で2度の優勝に導いた名將としての原点と指導哲学とは？

中学校に野球部がなかった

1972年、中学に入学した山田少年は、当時の少年スポーツの中心は野球であったこともあり、当然のごとく野球部への入部を考えていました。

しかし地元の国見中学には野球部はなく、やむを得ずサッカー部への入部を決めました。

何とこのような背景があって、その後の人生をサッカーと共に歩むことになってしまうとは！

恩師との出会い

中学在学中に、島原商業高校OBで母校のサッカー部監督（商業科教諭）になっていた小嶺忠敏氏（注1）の誘いを受け、同氏の指導を仰ぐことになりました。

高校時代はMF（ミッドフィルダー）のポジションで活躍し、3年次の1977年、キャプテンとして九州勢初となる全国高等学校総合体育大会サッカー競技大会（インターハイ）での優勝を果たします。

「厳しい指導に入部を悔やんだこともあった」とのことですが、当時の島原商業は全国高校サッカー選手権の長崎県代表を続けていて、山田選手が1年次と3年次にはベスト8まで進んでいます。

小嶺監督の下でサッカーの技術と共にキャプテンシーや人間性を高め、監督もそのような山田選手の姿勢を高く評価していたようです。

「サッカーが強い大学に行きたい」と考えていて、他大学からの誘いもある中で、小嶺監督の助言もあり、当時の大学サッカー界で黄金期とも言える戦績を重ねていた法政大学への入学を決意しました。

（注1）小嶺忠敏氏は、島原商業、大阪商業大学を経て、1968年に島原商業の教諭となり、サッカー部監督に就任。同校をインターハイで九州勢として初の優勝に導く。1984年に国見高校に移り、全国高校サッカー選手権で戦後最多の6度の優勝を達成した高校サッカー界の名將です。2022年逝去。

法政サッカーの黄金時代

1978年に法学部に進みサッカー部に入部しますが、「日本代表が5〜6人所属しているなど、部員のレベルの高さに驚いた」とのことです。

当時の記録を調べてみました。

部員は1学年10人強と、現在の陣容とそれほど変わらない少数精鋭主義が貫かれていました。

しかし山田氏の入部直前の戦績を見て驚きました。

全日本大学サッカー選手権（インカレ）で、1976年に優勝（2回目）し、1975年と1977年には準優勝でした。

また、もうひとつの主要大会である総理大臣杯全日本大学サッカートーナメントでは、1977年に初優勝を成し遂げ、関東大学サッカーリーグ戦では、1977年に2度目の優勝を果たしていました。

入部後の山田選手も法政サッカー部の躍進に大いに貢献しました。

1978年（1年次）と1979年（2年次）の全日本大学サッカー選手権での準優勝、1978年の総理大臣杯全日本大学サッカートーナメントでの準優勝と1980年（3年次）の優勝、そして1979年の関東大学サッカーリーグでの3度目の優勝と、大学サッカー界でトップグループに君臨する法政サッカー部でした。

ポジションとしては、FW（フォワード）、ハーフ、ボランチをこなしていたとのことですが、得意なプレーの質問に、謙遜もある感じで「天才肌の部員が多い中で、持久力だけは自信があったので、ピッチを走り回り、運動量で勝負していた」とのことです。

悩んだ末の進路選択

今の日本でのサッカーに対する熱量から考えると想像もできませんが、1970年代や1980年代のサッカーを取り巻く環境は、野球に比べ人気は限定的で、プロの選手は存在せず、日本サッカーリーグ（JSL）は各企業内のアマチュアだけのサッカー部で構成されていました。

メディアの露出も少なく、ワールドカップへの出場などは夢のまた夢の状態でした。（日本プロサッカーリーグの発足は1993年、ワールドカップへの初出場は1998年）

そのような国内のサッカーの環境の中で、山田氏は恩師と仰ぐ小嶺忠敏氏を想うかべ、高校サッカーの指導者の道を

選択します。

長崎に戻って社会科の教員としてサッカーの指導者になるために、教職課程を履修し、母校島原商業高校での教育実習もこなしました。

しかし、何と皮肉な結末でしょうか。

長崎県の教員採用試験が総理大臣杯全日本大学サッカートーナメントの試合と重なり、受験を諦めざるを得ない状況に陥ってしまいました。（トーナメントも準決勝で敗れて3位でした）

失意の中にあった山田氏でしたが、「あかぎ国体」の開催を控えた群馬県の前橋育英高校から、サッカー部の強化を図るためのお誘いがあり、面接を受け、採用が決まりました。

指導者としてのスタート

1963年創立の前橋育英高校に1982年、社会科教諭とサッカー部監督として赴任した若き指導者は、とても荒れていた学園に驚かされました。

赴任時のサッカー部の20人ほどの部員も内部分裂の状態でしたが、何とかまとめ上げ、「奇跡かまぐれとしか言いようがない」と振り返るように、県大会で優勝し、初のインターハイ出場権を得てしまったのです。

地道な努力を重ねたことに疑いの余地はありませんが、1985年に全国高校サッカー選手権の初の県代表になり、1998年、1999年、2001年、2008年の計4回の大会で3位入賞（3位と4位の順位決定戦は無し）となり、サッカー強豪校としての頭角を現してきました。

このような前橋育英高校の台頭の過程で、1987年から2003年の間に6度の優勝、3度の準優勝、2度の3位入賞と、輝かしい戦績を残していたのが恩師小嶺監督率いる国見高校で、山田監督もその光景をまぶしく眺めていたことでしょう。

努力の結実

監督就任27年目の2009年、ついに全国高等学校総合体育大会サッカー競技大会（インターハイ）での初の全国優勝を果たしました。

さらに2015年と2017年の1月に行

われた最も権威のある全国高校サッカー選手権大会での準優勝に続き、2018年1月に念願の同大会を制覇するに至ります。（決勝の相手は流通経済大柏高校）

2022年のインターハイで優勝（2度目）し、今年正月の全国高校サッカー選手権大会の決勝では、因縁の流経大柏高校とのPK戦での死闘を制し、2度目の栄冠に輝きました。

人間力を育む指導

サッカー部監督として、チームの強化は勿論のこと、選手のメンタル面での成長を追求してきました。

「〔技術力＋身体能力）×人間力」の計算式を用いて、人間力がゼロであれば、いくらサッカーが上手でも良い選手にはならない、胆力・包容力・自立の精神が成長に繋がると説いています。

単に結果としての勝利ではなく、日頃の練習や生活の中での人間形成に努め、多くの人材を大学やリーグチーム、そして社会に送り出しています。

前橋育英高校は元日本代表の山口素弘や松田直樹など100名を超えるJリーガーを輩出していて、その中にはJ1で活躍中の田部井涼（岡山）や吉田舜（浦和）を含む多くの法政サッカー部OBも含まれます。

また現在の法政サッカー部でも、3名の前橋育英高校OBが活躍中です。

今回の取材を通して、今の日本でのサッカー熱の盛り上がりの根底には、山田監督のような指導者による地味で時間の掛かる選手の育成と底辺の拡大があることを理解することができました。



2025年1月 顕彰式（前橋育英高校サッカー部）

大学での学びで起業 究極のベーコンが大人気

2004年、現代福祉学部現代福祉学科に入学し、福祉や街づくりを学びました。特に思い出深いことは、オランダへの海外研修です。高齢者や障がい者、子どもたちが自分らしく生活している様子を見て、



村田 玲子
'08年 現代福祉学部
現代福祉学科

現在、栃木県小山市に2018年に移住し、三人の子育てをしながら小山自慢株式会社という会社を経営しています。子どもたちにとって誇れるふるさとを作りたという思いで起業して5年になります。今で

「法政IPO会」の活動に 力を入れています！



伊藤 章子
'02年 法学部
法律学科卒

大学卒業の先輩方が発足した法政IPO会の活動に、事務局として関与しています。

法政スポーツの情報を オープンチャットで発信



山川 守
'74年 社会学部
応用経済学科卒

環境破壊、ゴミ問題、財政問題等を織り交ぜたものとなりました。特に、4年生の時は、卒論の資料収集、執筆、教育実習、博物館学芸員資格取得実習、就職活動と、多忙な毎日を送りました。



おとっぺ
商品ページ

は、弊社の究極のベーコンが市民投票で人気NO.1を獲得し、市の認定商品となりました。ここ小山市に名物をつくり、絆を深めるベーコンをこれからも小山市の魅力とともに全国に発信していきます。今行っている事業は大学で街づくりを学んだことの実践だと感じ、常に大学への敬意を持って活動を行っています。

志す人や支援したい人に向けた寄附講座「スタートアップの創業からIPOまで」を開講します。法政IPO会のメンバーである起業家やIPO実務に精通した専門家がゲスト講師となり、テーマ別に講義を実施した後、グループワークやケーススタディ、ディスカッション等を行う予定です。法政から多くの起業家と支援者が誕生することを願って、今後も尽力していきます！

法政大学の先輩方は、先輩・後輩の垣根を越え、多様なキャリアを持つメンバーが、起業やIPOについてリアルな情報やコンサルティングを共有しています。2025年秋からは、法政大学経営大学院で、起業を

影響で六大学野球もよく応援に行き、法政スポーツのファンになりました。現在も楽しみの一つとして、法政関連のネットニュースをよく読みます。ネットのアルゴリズムにより、法政大学のニュースがより多く表示され、その情報を「法政スポーツ応援OC」で「山野好鳥」の名で皆さんと共有しています。今でも法政の情報を読むと法政の血が騒ぎますし、法政大学で学んだことを誇りに思います。

法政おかわが母校を卒業して幾年。各方面で活躍しその後の人生模様を寄稿願った。

ESSAY
校友随想

PARTNER NEWS

パートナー

地域・卒業生団体
学部・付属校同窓会
だより

文学部同窓会

「池上本門寺」に行く

文学部同窓会では、(特別企画)として、毎年春と秋に都内・近郊散策を行っています。

5月9日(金)、本会の井坂義雄・元会長(本学名誉教授)にご参加いただき、大田区の日蓮宗大本山「池上本門寺」を訪ねました。

午後一時、東急池上線「池上」駅に集合後、本門寺の総門を潜(くぐ)り、加藤清正の寄進の「此経難持坂(しきょうなんじざか)」の96段の石段を登って右に曲がると、江戸時代初期建立の五重塔が見え、塔の近くにある文豪・幸田露伴とその娘で作家の文(あや)の墓に参拝しました。

谷中五重塔建立に一身を捧げた大工を描いた『五重塔』や中国・明朝(みんちょう)の靖難(せいなん)の役(えき)をテーマにした壮大な歴史小説『運命』などの露伴作品は、近代日本文学の傑作と言われています。さらに、戦後日本のヒーロー・力道山の墓と、この地へ入滅した宗祖・日蓮の廟所に参拝して本門寺を後にしました。

(75年中学科卒・金森和彦)

経済学部同窓会

卒業祝賀会で経済学部同窓会新企画「負けるが勝ち」

3月24日(月)の学位授与式後に行われた卒業祝賀会では、過日、教授会との懇談会の席上、竹口経済学部長より、卒業祝賀会での企画は何かないだろうかとの相談があったのを受け、経済学部同窓会が「負けるが勝ち」じゃんけん大会を新しく企画しました。

これは、壇上の村田会長



本門寺総門前で(いちばん左が井坂義雄・元会長)



村田会長がじゃんけんカードを掲げるたびに、会場は大きな歓声に包まれました。

と卒業生全員がじゃんけんを行い、負けた者が残って次のじゃんけんに進み、これを繰り返して最弱王(実は負けるが勝ち)を決め、賞品が与えられるというものです。

経営学部同窓会

落語研究会による「落語会」と「忘年会」を開催

2024年12月7日、法政大学落語研究会による「落語会」を市ヶ谷キャンパス 富士見ゲート3階「つとひ」にて開催しました。経営学部学術ゼミナールの学生にも参加いただきました。

法政大学落語研究会は、多数のプロを輩出している歴史ある研究会で、2024年には落語の学生チャンピオンを輩出しています。新入生も多く加入し、活気ある活動を行っています。

部員の中から2年 市ヶ谷 猿坊(いちがや えんぼう)、1年 田町家 偽 眞人(たまちや きがんと)、田町家 翠(たまちや みどり)の3名にご登壇いただき、各人の個性を発揮して、落語を披露した



散歩、授業「職業社会論」へのゲスト講師招聘補助、箱根駅伝応援・新年会、卒業祝賀会補助、優秀卒業論文表彰。中でも、24年度から形態を変えて開催されるようになった優秀卒業論文表彰は、華やかな行事となり、受賞者より同窓会に対して感謝のメッセージがありました(写真参照)。

25年度も活動の基本の1つを「在学生支援のための同窓会」に置き、各種事業に取り組みしていきます。また、同窓会の発足以来、多くの事業が市ヶ谷キャンパスを起点としたものとなっていました。社会学部卒業生の半数以上が多摩キャンパス卒業生になったことを踏まえ、今後は多摩キャンパスを起点とした事業、及び部員の代替わりを進展させていきます。このことを視野に、本年度はホームページのリニューアルと運営に取り組みます。

社会学部同窓会では24年度、会報64・65号発行の他、次の事業に取り組みしました。六大学野球観戦(春・秋の2回)、大人のグルメ

社会学部同窓会

活動報告・予定

社会学部同窓会では24年度、会報64・65号発行の他、次の事業に取り組みしました。六大学野球観戦(春・秋の2回)、大人のグルメ



2024年度優秀卒業論文表彰 受賞者

法政大学中等学校同窓会

第10回「同窓会ゴルフ大会」を開催

澄み切った空の遙か彼方へ飛び去る白球。とても如月とは思われぬ暖かな日差しの下、2025年2月20日、千葉県市原市のキングフィールズゴルフクラブにて第10回法政大学高等学校同窓会ゴルフ大会が開催されました。

今回、参加者の顔ぶれも若返り、30〜47期が20名を占め、最年長の5期(89歳)の秋山さんから24期までの70歳オーバーの先輩方が参加されました。

27名の同窓生にて和やかながらも壮絶な争いが繰りひろげられ、優勝は36期奥野さん。準優勝は37期小宮山さんがベストグロスと共に獲得。ディフェンディングチャンピオンの36期岩本さんは、実力を発揮できずブービーに甘んじました。

様々な賞の表彰後、最後は高村同窓会会長(18期/法政大学応援団第44代団長)のリードで全員で校歌斉唱。次回大会での再会を約束して散会いたしました。

次回開催は、2026年2月19日(木)キングフィールズゴルフクラブにて開催を予定しております。

参加をご希望の方は同窓会事務局までご連絡ください。お申込みをいただいた



市役所法友会の金子会長の乾杯で懇談に移り、岩橋支部長のマジックショーなどで大いに盛り上がりました。

方と、過去ご参加の皆様には改めてご案内致します。どうぞ、皆様お誘いあわせの上ご参加くださいますようお願い申し上げます。

第11回「同窓会ゴルフ大会」開催のお知らせ

【開催日】2026年2月19日(木)

【場所】キングフィールズゴルフクラブ

北海道札幌支部

設立41年で500回の月例会を開催

札幌支部内の親睦団体のひとつ「札幌オレンジ会」が本年5月の「月例会」で回数が500回目の記念すべき節目を迎えた。昭和58年に有志数名が集まって設立以来、41年間にわたり、毎月1回、月例会を開いてきた結果である。

宴席では歴代の会長経験者から設立当時の思い出話やエピソードが披露されるなど大いに盛り上がった。現在、会員数は30名(最年長者・昭和30年卒・最若手・平成24年卒)。主な活動は毎月第2木曜日に開催される「月例会」、5月から10月に開催される月1回のゴルフコンペ、地元球団の日ハム観戦応援ツアーなどアクティブに活動を行っている。今回の500回目は通過点に過ぎず、今後も継続できるよう参加者一同、誓い合って閉会した。

松戸支部

松戸支部総会開かれる

2月20日(木) 松戸商工会議所で45名の会員参加のもと、令和7年の総会を開催しました。

冒頭、岩橋支部長から「支部一丸となって、更なる会員増強と相互の親睦を図って、母校発展に尽くそう」との力強い挨拶があり、報告・審議事項の全てが承認されました。

懇親会では、支部会員であり、大学理事の岡本氏から大学の近況報告があり、続いて県内各校友会来賓7名を代表して、千葉県校友会会長の伊東船橋校友会長の挨拶がありました。

講演は「パワハラから学んだこと」と題して、支部会員でもある流通経済大学サッカー部監督中野雄二氏にお話し頂きました。

市役所法友会の金子会長の乾杯で懇談に移り、岩橋支部長のマジックショーなどで大いに盛り上がりました。

新人会員の紹介や市役所会員の自己紹介などがあり、最後に元応援団 市川法友会の長井幹事長のエールとともに全員で円陣を組み、校歌斉唱し、盛況のうちに閉会しました。

(幹事長 松山 幹彦)

SERIES パートナー組織紹介



「Off-Trail」を地

信を得ることができました。

今年2月には、関西



「我々のフィールドに際

25年4月1日就任

近畿日本ツリス(株)

1969年(経卒)

1966年(経卒)

体育会ワンダーフォーゲル部は、2024年に創部75周年を迎えました。

他の海外遠征としてしま

図やコンパスを駆使して、

我々、法政ワンゲルは、

「我々のフィールドに際

25年4月1日就任

25年4月1日就任

25年4月1日就任

25年4月1日就任

25年4月1日就任

創部75周年にアラスカ遠征を敢行

体育会ワンダーフォーゲル部は少数精鋭の集団

図やコンパスを駆使して、

我々、法政ワンゲルは、

「我々のフィールドに際

25年4月1日就任

25年4月1日就任

25年4月1日就任

25年4月1日就任

25年4月1日就任

自由民主党 法友会



自由民主党副総裁の他、法友会の会員。大学からは廣瀬克哉総長(当時)、2025年



恒例の昭和歌謡コンサート開催

長野東信法友会



無念の後輩たちに黙とうを捧げる

箱根駅伝を目指す



沖縄市「デイゴホテル」にて

自由民主党法友会の集い

菅元総理は26歳のとき志をたてた

「法政大学出身議員等相互の親睦を図るとともに、母校の発展に寄与することを目的とする」という自由民主党法友会が2月18日に開催されました。

3月31日付けで新総長に就任したダイアナ・コー常務理事(当時他11名。校友会からは竹中宣雄会長他9名など)となっています。

音頭による乾杯があり、懇談となりました。

神奈川県校友会は、今年で第3回となる昭和歌謡コンサート

あり、中には客席と一緒に歌う懐かしい曲もありました。

痛ましい事故から9年が経ちましたが、長野東信法友会では、本年も1月13日(月・成人の日)に塩川会

箱根駅伝を目指す

今やお正月の風物詩となった箱根駅伝。太田さん

陸上競技部に寄付 呈しました。

金と協賛品を贈呈

沖縄県校友会

法政大学応援団 since 1925
700TH ANNIVERSARY
応援団100周年

OBOG会より100周年のご挨拶



法政大学 評議員
法政大学校友会 副会長
法政大学応援団 OBOG会 会長
田中 利幸

卒業生にとっても大きな
励みであり、希望そのもの
です。

大正末期から、昭和の幕
開けとともに産声をあげた
法政大学応援団は、本年、創
立100周年を迎えました。

戦後の混乱、社会の変化、
学生気質の変容、そして近
年の少子化といった数々の
困難にもかかわらず、その
この歴史的な節目にあたり、応援団の歩みを陰に陽
に支えてくださったすべて
の皆様へ、心より御礼申し
上げます。

応援団は、「礼儀」「節度」
「闘志」の三原則を行動の
規範とし、声を枯らし、汗
を流しながら、仲間と母校
への応援を貫いてまいりま
す。



法政大学理事
法政大学応援団
OBOG会 副会長
長 裕章

本年、法政大学応援団は
創立100周年を迎え、11
月16日に記念式典・祝賀会
を開催いたします。

これまでの長い歴史を振
り返り、「感謝、尊敬、愛
情、三つの気持ちを伝え、
次の世代へエールを送る式
典」をコンセプトに1年以
上前から、幅広い年代のO
BOGが実行委員会を立ち
上げ、準備を進めています。

100年の歴史を母校と
共に歩んできた応援団とし
て、多くの大学関係者の
方々にもご参加を賜り、一
緒に祝って頂けることは、
本当に有難く関係各位に感
謝申し上げます。

法政大学は、これまでに
累計約52万人の卒業生を輩
出し、さまざまな分野で社
会を支える人材を送り出し
てきました。応援団は、そ
の長い歴史の中で、入学式、
神宮のスタンド、卒業式な
ど、人生の節目で皆様に
エールを送り続けてきまし
た。吹奏楽部の音色やチア
リーディング部のダンス、
そして太鼓の音とリーダー
の声が、皆様の記憶に残っ
ていることを願っております。
応援団の活動が今日まで

続いてこれたのは、母校・
法政大学をはじめ、日々ご
指導いただいた教員の先生
方、学内で支えてくださっ
た職員の皆様、そして校友
会・後援会の皆様の温かい
ご理解とご支援があつてこ
そです。この場をお借りし
て、深く感謝申し上げます。
100周年はひとつの通
過点であり、未来への出発
点でもあります。私たち応
援団OBOGは、これから
の100年に向けて、現役
と心を通わせながら、応援
団の精神と伝統を次代へ継
承してまいります。

我々現役団員の活動の多
くはOBOGの先輩方の支
えがあつて成り立っており
ます。また、皆様方の法政
大学への沢山の支援や励
ましのおかげで、我々法政
大学応援団は日々胸を張っ
て活動に取り組むことがで
きております。改めて、感
謝申し上げます。何卒先輩
方にはこれからも我々の活
動に対し、お力添えいただ
けて参ります。



団長
布施拓真

我々応援団は本年100
周年を迎える事が出来まし
た。それはひとえに、我々
現役の活動にお力添えくだ
さる皆様のおかげであると



リーダー部責任者
濱田 泰誠

我々現役団員の活動の多
くはOBOGの先輩方の支
えがあつて成り立っており
ます。また、皆様方の法政
大学への沢山の支援や励
ましのおかげで、我々法政
大学応援団は日々胸を張っ
て活動に取り組むことがで
きております。改めて、感
謝申し上げます。何卒先輩
方にはこれからも我々の活
動に対し、お力添えいただ
けて参ります。



吹奏楽部責任者
河合 陽菜

本年度吹奏楽部は「尊」
というスローガンを掲げま
した。「尊」には部員同士
尊重、尊敬し合い、団体を
存続させてきてくださった



チアリーディング部責任者
横山 菜

チアリーディング部GE
NIESは本年度、「PI
US」というスローガンの
もと活動しています。自分

◆◆◆第100代・現役団員の決意◆◆◆

我々の使命は、その伝統と
情熱が今日に至っても絶え
ず続いている事に対する諸
先輩方への感謝を日頃の活
動を通して伝えていく事
と、これからも未来永劫続
くこの応援団の伝統と情熱
を後輩達に紡いでいく事と
考えております。今後とも
法政大学の名の下に全力で
活動に励んで参ります。

我々現役団員の活動の多
くはOBOGの先輩方の支
えがあつて成り立っており
ます。また、皆様方の法政
大学への沢山の支援や励
ましのおかげで、我々法政
大学応援団は日々胸を張っ
て活動に取り組むことがで
きております。改めて、感
謝申し上げます。何卒先輩
方にはこれからも我々の活
動に対し、お力添えいただ
けて参ります。

方々、私たちを支えてくだ
さっている全ての方々に尊
ぶという想いを込めまし
た。現在吹奏楽部は4年生
が8名と最も少なく、私た
ちは多くの後輩に支えられ
活動しています。後輩を含め
一丸となって、吹奏楽部を
支援して下さっている皆
様に向けて音楽を通して感
謝の気持ちを伝えし、よ
うな活動に取り組むたい
と思ひます。

自身の限界を決めず、常に
プラス一步を踏み出すこと
を大切にしています。どん
な困難に直面しても、一歩
踏み出すことで新しい可能
性が広がることを信じて、
努力を続けて参ります。こ
のスローガンを胸に、チー
ム全員が一丸となり、さら
に成長して参ります。

100年の団史と昭和100年

大正15年 (昭和元年)	応援団創設	2024 令和6年	六大学が一堂に会する 六旗の下に3部が熱演
昭和4年	応援団員を中心に校歌改正委員会発足 募金活動の主催	2019 平成31年	箱根駅伝の五区、 芦ノ湖前で応援
昭和5年	新校歌(現在の校歌)誕生 六大学野球初優勝を提灯行列で祝す 相撲、水泳、馬術、ボクシング、野球、 陸上競技などの応援が活発化する 六大学野球を空から飛行機で応援、 神宮球場あぜんとする	1980 昭和55年	六大学野球秋リーグ 優勝で提灯行列
昭和6年	応援歌「若き日の誇り」誕生	1966 昭和41年	第42回箱根駅伝での 応援風景
昭和7年	太平洋戦争勃発		
昭和16年	先輩の学徒出陣に応援団団旗の壮行会 8月15日終戦		
昭和19年	応援団の再建、六大学野球復活に尽力 鎌倉・円覚寺にて第1回合宿行われる ブラスパンド部(現吹奏楽部)結成 第1回オランダの集い開催		
昭和20年	応援歌「チャンス法政」誕生		
昭和21年	応援団OB会結成		
昭和22年	バトン部(現チアリーディング部)結成		
昭和23年	法政大学創立100周年記念事業で、 中村総長より総長大団旗が贈呈される		
昭和25年	神宮球場が人工芝になり紙吹雪の 使用不可となる		
昭和27年			
昭和29年	町田校舎(現多摩キャンパス)開校 アメリカンフットボール等、野球以外の 各種応援が活発化		
昭和30年	国際文化学部、人間環境学部が誕生		
昭和31年	ボアソナード・タワー竣工		
昭和32年	六大学応援団初の女性副団長誕生、 神宮球場で校歌を指揮する		
昭和33年	学生会館解体に伴い団室が仮移転する		
昭和34年	外濠校舎竣工。団室は富士見坂校舎に 法政大学応援団初の海外遠征、ドイツへ 初の外国人旗手責任者誕生		
昭和35年	新型コロナウイルス感染拡大により 大学全体の卒業式が中止		
昭和36年	菅義偉氏、法大出身で初の内閣総理大臣に就任 コロナ禍で夏合宿が中止、六旗の下には オンラインで開催		
昭和37年	制限されていた応援が内野席に復活 夏合宿再開、六旗の下に対面開催 箱根駅伝において対面での応援活動が 復活		
昭和38年	チアリーディング部USA大会出場 東京大学吹奏楽コンクール金賞		
昭和39年	100周年記念式典		

動画で歌おう！



100年で一番歌われた「若き日の誇り」秘話

若き日の誇り

作詞 法政大学応援団
作曲 岡本雅雄

法政 法政 法政
燃ゆる陽の生命こそ
沸ぎる我等が血潮
今ぞ競技の試練
制覇を誓いて鍛えし腕
見よこの振興の気概
恐れなき力持て
征け闘え破れ堅塁を
我らが勝利の凱歌
おお高らかに叫ばん
若き日の誇りぞ
法政 法政 法政

六大学野球で必ず最初に歌われる第一応援歌「若き日の誇り」。昭和7年に誕生し、今日まで100年近く歌い継がれている。勇壮で文学的な歌詞を書いたのは法政大学応援団、当時の学生たちだった。

「この歌を歌う時、胸の奥から熱いものが込み上げてきます」と語るのは令和元年卒の安田崇政さん。

「かつて自分もあの一体感の中で声を張り上げ、仲間と共に勝利を信じて応援した日々がよみがえります。一首一音に、歓喜も悔しさも分かち合った思い出が重なるんです。この歌を歌うと、法政の一員であること、応援団の一員であったことに心から感謝と誇りを感じます。今も神宮球場で戦う後輩たちに、その想いが届いてほしいと願いながら、声を重ねています」

「若き日の誇り」は野球だけでなく、陸上競技、相撲、ボート、ヨット、自転車競技など、さまざまなスポーツの舞台で歌われている。また入学式や卒業式、学祭、壮行会など大学の公式行事でも欠かせない存在だ。

法政大学の伝統を象徴する「若き日の誇り」はスポーツの域を超え、学生や応援するすべての人々の心をひとつにする絆の歌なのだ。



♪征け闘え、のところからくり出される伝統の突き



100年前はこんな時代

大正14年にラジオ放送が始まり、六大学野球が始まったのも同じ年。大正15年（昭和元年）に法政大学応援団が創設。昭和2年には日本で初めての地下鉄が開業。六大学野球初期の写真では応援団が選手を先導してグラウンドに入場していた。

昭和四十五年「春・千葉富浦にて」

始発電車が通り過ぎるころ
安らかな夢の世界から現実の世界へ俺を呼び戻す
当番の非情な声、「おい起きろー時間だぞー」
さっき布団へもぐり込んだばかりじゃないか
チエ、また朝がきやがった
夜が短すぎる朝日が憎い
俺の気持ちも知らないで
太陽の馬鹿野郎
朝のラジオ体操はまだ夢心地だ
「いくぞ」副責の声
ロードワークの開始だ

走り出してしまった
止まることはできない
もう止まることはできないんだ
「ワッショイ。ワッショイ」
のどが痛い
声がかすれる
「ベッ」ツバを吐き出す
チクシヨーツ。声が出ない

「ワッショイ。ワッショイ」
止まりたいなあ
休みたいなあ
ようし、あの曲角まで頑張ろう
自分自身に言い聞かせて走り続ける
もう少しだ。あともう少しで曲角だ…
曲角だ

昭和四十七年卒 古川伸 先輩 法政大学応援団七十年記念誌より



100周年
記念サイト



高橋の次なる目標は世界陸上

(経済学部 松下天)

数々の日本代表を輩出してきた法大のお家芸・男子400mハードル。今年もこの種目にニュースターが誕生した。彼の名は男子主将の高橋遼将（経4Ⅱ中京大中京）。4月に行われた日本学生陸上競技個人選手権大会では優勝。また7月に開催されるワールドユニバーシティゲームズの日本代表にも選出された。

5月の関東学生陸上競技対校選手権大会決勝ではスタートから首位を独走。自己ベストを大きく上回る49秒06で悲願の初優勝を決めた。この種目は前主将でアジア選手権日本代表の井之上駿太（富士通）に続き、2年連続で法大勢が制した。高橋の最大の目標は9月に東京で行われる世界陸上競技選手権大会に出場すること。

そのためには標準記録である48秒50を切る事が重要となる。限界を超えた先にある世界の舞台に立つために、高橋は偉大な記録に挑戦していく。



キーワードは「仲間を助ける」

(人間環境学部 山口晴暉)

4名のJ1クラブ内定者を出し、屈指の好メンバーを揃える今季のサッカー部。リーグ戦が開幕するとその実力を遺憾なく発揮した。開幕7試合を終え、6勝1分で首位に立ち、得点力、守備力両面においてリーグトップに立つなど、今季の2部リーグ優勝筆頭と言えるだろう。

今季の躍進の要因のひとつに、法大OBでプロの道を歩んだ柳沢将之監督の就任が挙げられる。柳沢体制のキーワードは「仲間を助ける」。その姿勢が前述の結果に表れているのだ。

東京都サッカートーナメント準決勝では、社会人チームの東京23FCに逆転勝利。決勝で対したのは昨季、関東1部リーグを史上初の無敗優勝した強豪・明治大学。試合は序盤に法大が2点先取。後半開始早々にPKを献上し、失点するも逃げ切り成功。無敗・明大に土をつけ優勝を果たし、6年ぶりに天皇杯東京都代表の切符を手にした。



今季は3大会連続で無敗の阿部

(文学部 朝長亜依)

5月に行われた第53回関東学生空手道選手権大会で阿部遙佑（国3Ⅱ世田谷学園）がひととき輝きを放った。今年度、六大学選手権と東日本大学選手権に団体で出場し、自身は無敗を貫いている。試合前のインタビューでは「無駄な動きを減らし、相手の隙を狙うことが勝ちに繋がっている」と答えた阿部。

初戦から順調に勝ち進み、6回戦では菊池徳大（社4Ⅱ法政二）との法大対決に。5Ⅲで阿部に軍配が上った。準々決勝、準決勝も勝ち上がり、迎えた決勝の相手は法大主将・庄山晃太（法4Ⅱ保善）と、再び同校対決となる。序盤は慎重な攻防が続くも開始1分5秒、阿部の上段突きが有効となり1ポイント先取。その後も得点は動かず、1Ⅰ0で試合は終了。阿部が栄冠を手にした。

この大会において法大が1位、2位を独占するのは史上初。空手部にとって記念すべき快挙となった。

伝統を繋ぐ法政スポーツ、今季も大躍進

陸上競技部

サッカー部

空手部

男子400mハードル
法大勢が2年連続優勝

2部リーグで快進撃
東京都トーナメント優勝

関東大会で史上初の
ワンツーフィニッシュ

「えこぴょん」 誕生秘話



「えこぴょん」は2008年、学内公募により環境改善活動推進キャラクターに決定しました。その後、学内外で好評を得て、13年に大学キャラクターとなりました。今回は、生みの親である檀上香奈さん(2008年度人間環境学部卒業、旧姓日高さん)にお話を伺いました。

誕生の秘密は幼少期に

母が美術の教員免許を持っており、私自身幼いころから絵を描くのが好きでした。小学生の時にうさぎを飼っていたので、自由帳はうさぎの絵でいっぱい。夏休みの宿題では、環境活動や



作者の香奈さんとお子さん

法政大学キャラクターの「えこぴょん」誕生秘話には、作者の生い立ちや思いが溢れ、今や環境改善活動はもろろん、母校愛を育む大学キャラクターとして広く愛されています。



自由帳に描いたうさぎの画

消防のポスターにうさぎのキャラクターを描いて入賞したこともありました。

ゼミでもらった募集チラシがきっかけ

人間環境学部では田中勉教授のもと*CESゼミに所属し、千代田区の小学

大学のキャラクターへ

2013年11月に大学のキャラクターになってから、多くの方が盛り上

校で環境教育の授業を行った際に、ゼミのキャラクターをアレンジして載せたところ、とても喜んで取り組んでくれました。ゼミでもらったチラシで環境改善活動推進キャラクターの学内公募を知り、ごみ箱の脇に可愛いキャラクターがいれば分別も楽しくなる、小さなつながりで環境問題を改善したい、そういう思いで応募したところ、環境改善活動推進キャラクターに選んでいただきました。環境センターの活動やエコバッグ、震災の募金活動に使われるなど「こういうことに使われたらいいな」と思っていたことが実現され嬉しかったです。

今後のえこぴょんの活躍に注目
現在は結婚して育児をしているのですが、子どもが大きくなったときも、えこぴょんが活躍してくれていたら嬉しいです。夫は、えこぴょんの赤ちゃんにも注目しているようです。
(写真提供…本人
取材…校友会事務局 鶴岡洋乃)



えこぴょんグッズ:ノートやファイルは再生紙や再生プラスチックを使用

2025年度3大イベントの 開催日程について

1 第24回オール法政ゴルフ大会“総長杯” 日程：2025年9月8日(月) (9月第2週月曜日) 場所：キングフィールズゴルフクラブ



2 第31回法政大学全国卒業生の集い(福岡大会) 日程：2025年10月17日(金)～19日(日) ●記念ゴルフ大会 (17日(金))：芥屋ゴルフ倶楽部 ●大会式典・懇親会 (18日(土))：ホテルニューオータニ博多 ●エクスカージョン (19日(日))：福岡観光



第47回日本アカデミー賞 優秀監督賞で
秋田出身の成田洋一氏(1984年文学部卒)の講演



3 2026年「オール法政新年を祝う会」 日程：2026年1月25日(日) 場所：グランドニッコー東京 台場「パレロワイヤル」



※写真はいずれも前回のもの

本の散歩道

『今、ラジオ全盛期。静かな熱狂を生むコンテンツ戦略』



(クロスメディア・パブリッシング)

オールナイトニッポンV字復活の名プロデューサー 発売即重版! Amazon 4部門でカテゴリー1位獲得

ニッポン放送にてオールナイトニッポンの統括プロデューサーを務める富山雄一さん(法学部・2003年卒)が初の著書『今、ラジオ全盛期。静かな熱狂を生むコンテンツ戦略』を発表しました。そんな富山さんにお話を伺いました。

ーどんな大学生活でしたか？

サークルは広告研究会でラジオCMを制作し、学生広告展にチャレンジしていました。教室にいるよりも学生会館にいる時間の方が圧倒的に長い学生生活でした。自主マスコミ講座にも所属し、同期と切磋琢磨した経験が今に繋がっています。

ー今回、本を書いた経緯は？

NHKを経て、2007年にオールナイトニッポンに関わりたくニッポン放送に転職しました。当時のラジオ業界は、インターネットの波に飲み込まれ衰退する一方でした。そうした中、radikoがアプリになってスマホでラジオが聴けることになり、オールナイトニッポンを聴く方が劇的に増えました。オードリーさんの番組では、東京ドームでイベントができるまでになりました。そんなラジオ業界の20年間を綴らせて頂きました。

ーこれからも活躍を期待しています(広報部会 勝又秀雄)。